

特集 エイジングケア化粧品・原料

インタビュー

医療法人白寿会

ハートフルクリニック 代表

平良 成 氏

日本臨床自由診療研究会の代表で、医療法人白寿会 ハートフルクリニック、介護老人保健施設 白寿園の代表でもある平良成氏に、医療現場でも今後活用されるエイジングケアとしての化粧品について話を伺った。

—— 内外美容の概念が日本でもようやく浸透してきましたが、抗加齢医学の立場からエイジングケア化粧品などについてお話を伺いたいと思います。平良 私は皮膚科専門医ではないので、抗加齢医の立場からお話します。内外美容という言葉が認知されてきましたが、私のクリニックでは食事、生活習慣、サプリメントが基本となります。それに、点滴療法、統合医療、アンチエイジング医学などを実践しています。抗酸化能を高め病気になる身体づくりを進めることが重要とし、その具体的な方法としてサプリメント外来なども行っています。

—— 最近では企業と共同開発で多目的の商品を開発されたそうですが。

平良 介護老人保健施設の白寿園では、高齢者の健康維持の一環として、ポランティアのセラピストによるフットマッサージやハンドマッサージを行っています。手足のマッサージは関節の稼働域を広げ、脳の反射区への刺激により脳の活性化にもつながるからです。しかし、高齢者肌は乾燥が激しく、ゲルで保湿しながらマッサージしないと逆に肌をいためてしまう。いろいろな保湿ゲルを試しましたが、超乾燥肌で、刺激に敏感な高齢者には、合成成分のゲルは肌になじまず、マッサージの途中ですぐ乾いたり、肌が柔らかくならなかったりするという課題がありまし

た。そこでバイオリック販売との共同で、「使用感がよく、保湿力が高く、マッサージしてもすぐに乾かない、刺激の少ない、全



成分が天然由来の原料でできたゲル」の開発が始まりました。

検討を重ねた結果、トウモロコシ由来のゲルと、ベントナイトと呼ばれる泥土、そして増粘多糖類のキサンタンガムの数十通りの組み合わせから、最もコンセプトに則した天然ゲルのレシピ開発に成功。さらに、コラーゲンやヒアルロン酸などの保湿成分を配合した上で、防腐剤も天然のグレープフルーツ種子エキスを採用することで、全成分天然由来のゲルが誕生しました。使用してみると高齢者からは大評判。自分の顔にこのゲルを塗ってみたセラピストからは、「顔のオールインワンゲルとしても最適」と話題になり商品がバイオリック販売より発売になりました。

—— 今後の化粧品展開などは？

平良 これからの化粧品は“無添加・天然素材”という考えがスタンダードになると思います。今後もそのコンセプトに基づいて新商品の開発を行いたいと考えています。

医療現場でも活用できるエイジングケア化粧品を

平良氏プロフィール

アンチエイジングドクター。Na-EDTAキレーションや各種オリジナル点滴療法、サプリメント外来など、独自の統合医療を展開。日本臨床自由診療研究会を主宰。ハートフルクリニックでは、定期的にサプリメント外来や点滴療法など自由診療外来開設に関するセミナーを開催し、全国から医科歯科のドクターが受講している。